

「東南アジア地域の発展途上国における 大気環境問題の現状と将来への取り組み」 関連用語

Technical Terms Used in the Feature Articles : Present Status, Problems and Future Activities on Atmospheric Environmental Problems in South East Asian Developing Countries

古内 正美¹・塚脇 真二²
Masami FURUUCHI¹ and Shinji TSUKAWAKI²

RSS (Ribbed Smoke Sheet)

生産国の天然ゴム1次製品は製造プロセスに応じて分類されるが、RSSはラテックスを酸添加で固化成形したスラブを溝(数ミリ幅)付ローラで圧縮した後、古木燃焼排煙で乾燥した数ミリ厚の鉛色シート。溝跡が残っている(ribbed)のでこう呼ばれる。おもにゴムタイヤの原料として使用される。RSSはタイの主製品。

アンコール遺跡区域 (Angkor Monument Area)

カンボジア西部トンレサップ湖畔のシェムリアプ周辺に広がる遺跡群。800以上にもおよぶ遺跡群の規模やアンコールワットなどの大規模建造物の壮麗さは数ある世界遺産の中でも特別なもの。遺跡指定区域の範囲は東京23区よりも広い。また、この区域は遺跡だけでなく、遺跡をとりまく自然環境を含めての世界遺産であり、指定区域内に10万人にもおよぶ一般住民が居住することでも他の世界遺産とは異なる位置にある。

乾性沈着 (Dry Deposition) と湿性沈着 (Wet Deposition)

大気中のガス状・粒子状物質が地表面や樹木等に沈着する現象を言うが、前者は粒子や粒子に吸着したガス状物質が重力沈降や大気流動に伴って沈着する場合、後者は雨滴核となったり雨滴に吸収されたりしたものが沈着する場合を言う。

クチクラ層 (Cuticle Layer)

植物の葉と茎の表面を覆う表皮細胞が、その外壁に

蝟あるいは脂肪酸からなるクチクラ(cuticle)を分泌することで生じるワックス様の保護層。植物体内からの水の発散を防ぎ、外部からの物質の侵入を調節するはたらきをもつ。

水温躍層 (Thermocline)

温度による水の密度の違いによって、湖沼や海洋では表層の水温が高く低層の水温が低く保たれる現象が見られる(水温成層)。この二つの層が形成されると二つの層の間に水温が急激に変化する層が形成される。これが水温躍層(変水層)である。

生物多様性 (Biodiversity)

あらゆる生物種(動物、植物、微生物)と、それらで成り立つ生態系、さらに生物が過去から未来へと伝える遺伝子とを合わせた複合的な生物変異性(多様性)の概念。生物多様性は、個体の多様性、種の多様性(種間多様性)、生態系の多様性で構成され、相互に関連しあっているとされる。

大気汚染物質排出インベントリー

各種大気汚染物質の排出源ごとの排出量を評価・整理したもの(目録)で、発生源寄与を数値モデル等に基づいて議論する際などに重要となる。個々の発生源の情報をまとめて発生源種類、地域、国ごとの排出量で整理されることもある。

TSP (Total Suspended Particulates)

総浮遊粒子。空気中に浮遊するあらゆる粒子径の粒子の総称。エアサンプラーの吸引部に特定の粒子径の粒子を得るための分級装置をつけずに吸引して捕集する。

パッシブサンプラー (Passive Sampler)

空気中のVOCやNO_xなどのガス・蒸気状物質の拡散現象を利用して、活性炭や樹脂、液剤を含浸させたフィルタなどに吸着捕集する器具。取り扱いが簡単なため作業現場等で広く用いられている。形態に応じてバッジ型やチューブ型などがある。

¹ 金沢大学大学院自然科学研究科
(〒920-1192 金沢市角間町)

¹ Graduate School of Natural Science and Technology, Kanazawa University
Kakuma-machi, Kanazawa 920-1192

² 金沢大学自然計測応用研究センター
(〒920-1192 金沢市角間町)

² Institute of Nature and Environmental Technology, Kanazawa University
Kakuma-machi, Kanazawa 920-1192